



新任院長挨拶

三尾 直士

皆様はじめまして、令和6年1月に院長として着任いたしました三尾直士です。

八戸病院は重症心身障害や慢性期疾患を中心に診療を行う医療施設であり、患者さんやそのご家族に信頼され良好な医療と生活支援を



提供していくことを基本の理念としています。新型コロナウイルス禍はようやく社会的な脅威ではなくなりつつありますが、医療をめぐる環境はこれを契機に大きく変わりました。また日本全体の少子高齢化などの社会的变化が医療に影響をもたらしつつあります。今年は社会の変化を見据え、これからどうしていくかを見直す年であるように思われます。患者さんにさらに良い医療を提供し、そして地域医療により貢献していくかを考えていきたいと思っております。どうか皆様のご意見をお聞かせください。

基本理念

私たちは、すべての患者さまとご家族に信頼され満足していただける確かな医療と生活支援を提供します。

基本方針

- 一 地域医療に貢献します
- 二 患者さまの権利と尊厳を守ります
- 三 療養環境と患者サービスの向上に努めます
- 四 良質で安全な医療の提供に努めます
- 五 誠実な看護を実践します
- 六 健全な病院運営を行います

目次 :

新任院長あいさつ	
院長 三尾 直士 1	
骨折予防研修を実施しました	
医療安全管理係長 齋藤 美穂子 2	
オンラインでつながる	
～合同療育活動～	
療育指導保育士 佐藤 美穂子 3	
第29回重症研を開催しました	
療育指導室 澤田 周平 3	
献立の紹介	
栄養管理室長 濑澤 豊 3	
臨床実習生を迎えて②	
理学療法士 白濱 充結 4	
総合医学会に参加して	
作業療法士 千葉 京子 4	
消防訓練を終えて	
庶務係長 石山 雄大 4	
病院案内	4
編集後記	4

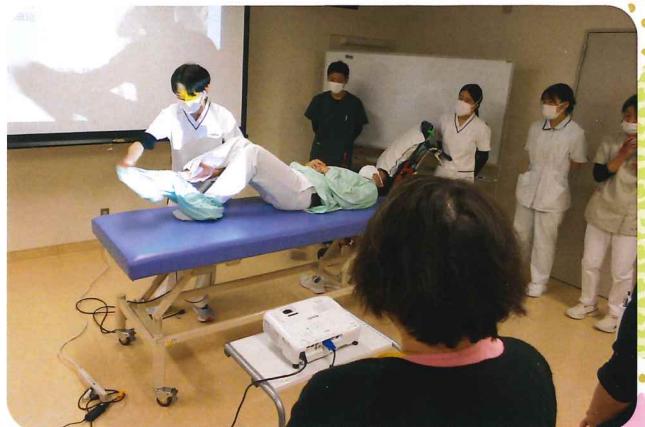


骨折予防研修を実施しました

医療安全管理係長 斎藤 美穂子

当院の患者さんはベッド上生活の方がほとんどで、疾患の関係から骨粗鬆症と関節拘縮が進んでいる方が多くいらっしゃいます。国立病院機構内でも骨折事例の報告が少なくないため、骨折予防を意識して日々の業務を行っています。

その中の一つとして、毎年骨折予防研修を実施していますが、今年度はリハビリテーションスタッフによる演習に力を入れて行いました。事前に座学での講義を各自が学習し、集合研修は実技を中心として効率的に行い、「具体的な実技で援助を学べた」「注意点や骨折予防のポイントがわかりやすい」「日常のケアに活かせる」との意見から有益な研修となりました。研修成果をこれまで以上に日々の業務に役立ててまいります。



オンラインでつながる～合同療育活動～

療育指導保育士 佐藤 美穂子



R5年11月1日、国立病院機構いわき病院主催の「オンライン合同療育」に八戸病院の患者さん・スタッフも参加させて頂きました。このオンライン合同療育は、「長期入院している患者さんの生活に潤いを与える」「QOLを向上させる」「他病棟の患者さんとの交流を深める」事を目的として、音楽活動やゲーム等の活動内容で実施されています。当日の内容は、カードを使って、双方の病院、ご当地の魅力、患者さん、スタッフの紹介をし、画面に写るのを恥ずかしそうにしていたり、堂々としていたりとワクワクがとまらない様子で、沢山の笑いに包まれてスタートしました。ゲーム「かぶっちゃやーよ」の時は、参加者全員一致団結で、これもまた大盛り上がりでした。なかなか行事が行えないという現状の中、オンライン合同療育に参加させて頂く事ができ、日々の療育活動の充実へつながる一歩だったと感じました。オンラインで交流でき、オンラインでつながる楽しさや魅力を沢山感じる時間でした。また機会があれば参加させて頂きたいと思います。



第29回重症研を開催しました

療育指導室 澤田 周平

令和5年9月9日、実に3年ぶりとなる北海道東北地区重症心身障がい児者研修会、通称重症研を当院にて主催しました。今回は重症研始まって以来初となるオンラインでの開催となりましたが、当日はオンラインと会場合わせて200名を超える参加者が機構内外から集まつてくださいました。江面院長の開会あいさつで始まった重症研は、青森県立中央病院 総合周産期母子医療センター 副部長 大瀧 潮先生の基調講演、各病院からの話題提供と進み、それぞれ質疑応答という形で活発な意見交換もなされました。この重症研は、今回で第29回目の開催となり、重症心身障がい児者の病棟を持つ北海道、東北地区の病院が持ち回りで行う研修会です。当院での主催は2回目になりますが、オンラインでの開催という初の試みによって、今後の重症研において新たな形をお見せすることができたのではないかと考えています。

献立の紹介

各医療関係者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症が、5類感染症へ移行後も変わらずの感染対策を徹底しつつ、日常業務に邁進されていることと存じます。

当院、栄養管理室においても、食中毒防止、新型コロナウイルス感染対策を徹底した上で、入院中の患者さんの栄養管理に努めています。病棟におけるお誕生会(少し緩和)や外出行事、慰問等が自粛されている中、入院中の患者さんにせめて食事だけでも楽しんで頂けるよう、ささやかではあります、心を込めた食事づくりに励んでおります。その一例をご紹介させていただきます。

栄養管理士 瀧澤 豊



11月15日(秋の収穫祭)

- きのこご飯
- つみれと貝割れのすまし汁
- 天ぷら(エビ・キス)
- 辛子和え(菜の花)
- 抹茶ロールケーキ



12月24日(クリスマス)

- パン粉焼き(チキン)
- サラダ(アスパラ)
- コンソメスープ(パブリカ)
- ストロベリーケーキ



12月31日(大晦日)

- 鮭ちらし寿司
- えび茶巾
- お浸し(菜の花)
- 年越しそば

臨床実習生を迎えて②

理学療法士 白濱 充結

こんにちは。理学療法士の白濱です。今年の4月から約2か月間はじめて臨床実習指導者として実習生を担当させていただきました。

実習期間中は主に神経難病患者さんのリハビリテーションについて学んでいただきました。普段なかなか関わることのない疾患のため、初めは患者さんとの関わり方に戸惑いがみられました。しかし、日々患者さんと関わる中で、徐々にコミュニケーションの取り方に上達がみられ、学生からも有意義な実習だったという感想が聞かれました。

私自身もはじめての実習指導で迷うことも多くあり、先輩方から助言を貰いながら共に学ぶことができ、とても良い経験となりました。

総合医学会に参加して

作業療法士 千葉 京子

今回第77回国立病院機構総合医学会に参加をしました。今年は10月20~21日の日程で、広島市で開催されました。私は「ALS患者のデマンドを尊重した一例~約2年間の関わりを考察~」というテーマでポスター発表をし、ベストポスター賞を受賞することができました。とても嬉しかったですし、今後の励みになりました。時間内に発表をすることができ、様々なご質問やご意見を頂きました。また、他病院の発表を聴講し学ぶ部分がとても多く、自身の刺激になりました。

宿泊施設から会場まで路面電車で移動をして広島の街並みを楽しんだり、本場のお好み焼きを食べるなど、とても充実した医学会への参加となりました。今度はプライベートで行ってみたいです！

最後になりますが、ご指導して下さった主任をはじめ、OTの先輩方、リハビリテーション科の皆様、ご協力して頂きました患者さんに深く感謝申し上げます。今後も一層精進して参りたいと思います。

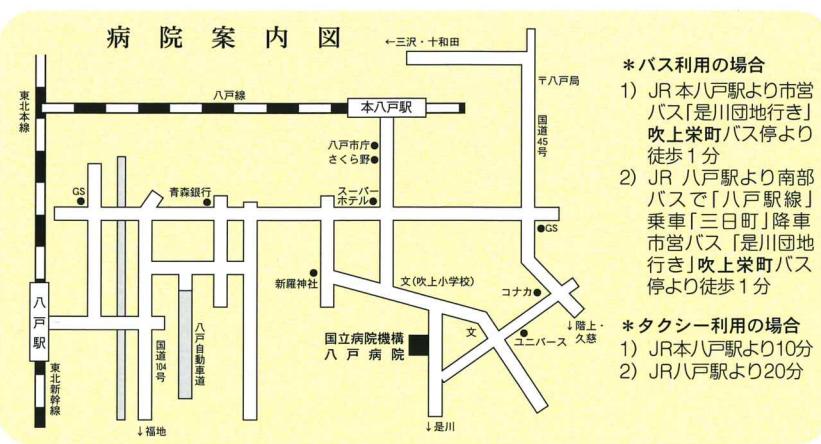
消防訓練を終えて

庶務係長 石山 雄大



令和5年8月30日に消防訓練を実施しました。前半はB病棟で夜間に火災が発生したことを想定した避難訓練を実施しました。勤務職員が少ない夜間帯を想定し、患者さんの安全確保を第一として避難誘導できるかを焦点としており、実際に訓練を行うと、想定しているシナリオ通りに進めることの難しさを実感しました。後半は消火器・屋内散水栓を用いた消火訓練を実施しました。散水栓からどれくらいの水が出るのか等を体験し、実際の火災発生時に初期消火をするイメージを膨らませることができた訓練になったと感じました。

病院案内図



編集後記

新年明けましておめでとうございます。
コロナ・インフルエンザ予防対策のため、
こまめな換気、手洗い及び手指消毒を心掛けましょう。
薬剤科長 山田 健

